

# 社会的共通資本 に関する授業を構想する

夏休み経済教室(東京)  
2025.8.19

東京都立新宿山吹高校 杉浦 光紀



# 発表内容

- 1 なぜ、“社会的共通資本”なのか
- 2 社会的共通資本とは何か
- 3 社会的共通資本を扱う授業の目標・構想
- 4 授業実践の内容
- 5 生徒の振り返り(学び)
- 6 社会的共通資本の実践的意義

補足1 「公共」授業のどこで、どのように扱えるか

補足2 宇沢弘文の考えていたこと・・・

# なぜ、“社会的共通資本”なのか

- 宇沢弘文の経済思想に、以前から着目をしていた
- 「人間と社会の在り方」を考える公民科への親和性
- 大学入学共通テスト2025「公共」での出題
- 春休み経済教室で松島斉先生のサステナビリティ講演  
→ 授業で答えていく必要があるのでは？

宇沢先生の著作を読み、考え、授業を実践

**第2問** ある学校では、毎年卒業生による講演会が行われている。今年にはビジネスの分野で活躍する卒業生が招かれた。次の問い(問1～4)に答えよ。(配点 12)

**問1** 先生Tは、講演会に向けて、持続可能な社会や経済の在り方について授業を行った。授業の内容に関心をもった生徒Aと生徒Bは、社会関係資本と社会的共通資本について調べて、次のメモ1とメモ2にまとめた。後の会話文中の下線部①～④は、それぞれメモ1とメモ2から読み取れることの説明である。その内容として適当でないものを①～④のうちから一つ選べ。

105

**人文・社会科学の概念**

メモ1 社会関係資本

この資本は、個人と共同体や個人間のつながりを意味するものである。この資本を形成する過程では、直接の見返りを期待せず、いずれ誰かがお返しをしてくれると信頼して行動することが望ましいとされる。

(パットナム『孤独なボウリング』  
柴内康文訳に基づく)

メモ2 社会的共通資本

この資本は、すべての人々が豊かで文化的な生活を送ることを可能にするものである。この資本を形成する過程では、自然、経済、社会の維持において、市場的な基準を無批判に取り入れてはならないとされる。

(宇沢弘文『社会的共通資本』に基づく)

A：メモ1によれば、①例えば、誰も手入れをしていない公園の清掃は、直接的な報酬に動機づけられて行うことが望ましいと判断できます。

B：メモ1には、②毎日会釈をして信頼関係を築くことも、社会的なつながりやその広がりに寄与することが含意されていると思います。

A：メモ2から、③例えば、河川や森林は、私有が認められている場合でも、その管理には社会的な基準を考慮する必要があると読み取れます。

B：メモ2によれば、④すべての人々の生活を豊かで文化的なものにするには、調和的な経済的環境を整えることが求められていると言えます。

T：社会や経済の在り方には様々な考え方がありますね。明日の講演会では、授業で学んだ経済の基本原理に関係づけて内容の理解に努めましょう。

# 社会的共通資本とは何か

## 社会的共通資本

- ①自然環境:大気、水、森林、河川、湖沼、海洋、沿岸湿地帯、土壌など
- ②社会的インフラストラクチャー:道路、交通機関、上下水道、電力・ガスなど
- ③制度資本:教育、医療、金融、司法、行政

「社会的共通資本は、一つの国ないし特定の地域に住むすべての人々が、**ゆたかな経済生活**を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置を意味する。社会的共通資本は、一人一人の人間的尊厳を守り、魂の自立を支え、**市民の基本的権利**を最大限に維持するために、不可欠な役割を果たすものである。社会的共通資本は、たとえ私有ないしは私的管理が認められているような希少資源から構成されていたとしても、社会全体にとって共通の財産として、**社会的な基準**に従って管理・運営される。」  
(宇沢弘文『社会的共通資本』p.4)

# 社会的共通資本を扱う授業の目標・構想

- ① 身近な経済活動を「社会的費用」の視点で捉え直せる
- ② 豊かな社会を「市民的権利」を基準に考察できる
- ③ 社会課題を「社会的共通資本」の視点から発見できる

→倫理・法・政治・経済学習が共振する授業

学びの意義

公共性  
(社会参画) { 積極的→豊かな社会をつくり上げる  
消極的→排除・分断・差別を生み出さない

宇沢の経済思想  
社会的共通資本の考え方

政治哲学・社会心理学の考え方

# 高等学校学習指導要領「公共」との関連

【B自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(ウ)】

・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と**個人の尊重**を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。

(解説)・消費者も、**社会、経済、環境などに消費が与える影響**を考えて商品を選択するなど、公正で持続可能な発展に貢献するような消費行動をとることが求められている(略)大切である。  
・例えば、市場経済においては、価格の働きによって生産が調整されたり、資本や労働などの生産要素が必要とされる場所に効率的に配分されたりすること、**市場機能には限界があるため公共財を供給するなど政府による適切な施策が必要になること**、などの観点から多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにすることが考えられる。

公共財が提供されれば、それでよい？

【A公共の扉 (3)(A)解説】 **公共的な空間**は、各人が、かけがえのない存在として認められ、よりよく幸福に生きることができるようにし、全ての人々のために協働の利益が確保されるようにすることを目指して、**様々な課題の解決方法を議論し、決定し、その実現を図る開かれた空間である**ことを理解できるようにすることが大切である。

# 授業実践の内容(問い)

## 生徒の活動(問い)

1  
コ  
マ  
マ  
目

- ①「1本の鉛筆」を作ったのは誰か？【発言を板書】
- ②「授業を受けること」の機会費用は何か？
- ③すべてが市場で取引されればよいのではないか？【発言を板書】
- ④公共財の性質から財やサービスがどう位置づくか？
- ⑤なぜ、公共財でないものを政府が供給するのか？【読解】

2  
コ  
マ  
マ  
目

- ⑥高速道路を作ろうとする企業は現れるか？
- ⑦新しい大型スーパーの地域への外部経済・不経済は？【発言を板書】
- ⑧自動車の社会的費用は何だろう？【発言を板書】
- ⑨“豊かな社会”において大事なことは何だろう？【読解】
- ⑩「社会的共通資本」の不足や破壊、「社会的費用」が問題となっている事例に何かあるだろうか？(等)【振り返り課題】

# 授業実践の内容(スライド)

いまの社会は豊かですか？

なぜ、それが実現できている・いないのか？  
これからどうしていったらよいのか？

テーマ 豊かな社会をつくることにどう関わるか？

- 1 協働はなぜ成り立つのか？
- 2 市場がうまくいくとき、いかないとき
- 3 公共性と外部性を考えよう！
- 4 自動車による交通の外部性
- 5 ・豊かな社会を構想しよう！（社会的共通資本）

「1本の鉛筆」をつくったのは誰か？

フリードマンによる説明は？

「豊かさ」への疑問、それを実現する  
社会のシステムに生徒の関心を方向付ける

具体的かつ広がりのある問いで、  
生徒の声を取り上げていく

動画：  
フリードマン「この鉛筆を  
作れる人は、世界に一人も  
いません」（約3分）

協働はどのように成り立つのか

- ・特定の行動を選ぶように仕向ける誘因
- ① **インセンティブ**
- ・ある行動の選択によって失われる、他の選択可能な行動のうちの最大利益
- ② **機会費用**
- ・ある行動により何かを得ようとする、ほかの何かを犠牲にする関係
- ③ **トレードオフ**

自由市場  
+  
合理的個人

「授業を受ける」

お互いに知らない人々の協働＝魔法のような価格システム！

経済用語を押さえておく

# 授業実践の内容(スライド)

## アダム・スミス『国富論』

自分自身の利得のためなのである。だが、こうすることによって、かれは、他の多くの場合と同じく、この場合にも、**見えざる手**に導かれて、自らはまったく意図もしていなかった一目的を促進することになる。…自分の利益を追求することによって、社会の利益を増進しようと真に意図する場合よりも、もっと有効に社会の利益を増進することもしばしばあるのである。

- 利己心による自己利益の自由な追求は
  - ④ **見えざる手** によって社会全体の幸福を実現  
→効率的、分業・協業の促進

## 市場がうまくいくとき、いかないとき

### 完全競争市場の条件

- (1) 売り手も買い手も
- (2) 市場への参入も退出も自由に行われる
- (3) 市場で取引される財・サービスは同質である
- (4) 買い手も売り手も財・サービスに関する
- (5) **多数**存在する
- (6) **情報**を全て共有

### 市場の失敗

- ① **独占・寡占**
- ② 情報の非対称性
- ③ **公共財**の過少供給
- ④ 外部(不)経済
- ⑤ 所得分配の不公平

## 公共財と外部性を考えよう

公共財とは…①多くの人が同時に消費できる(非排他性)

②対価を支払わない人を消費から排除できない(非排他性) という性質をもつ

Q、以下の財やサービスは、その性質からどこに位置付くだろうか？

		自動車	水道	自然林	一般道路(混雑していない)	美しい景観	高速道路	医療や教育	公園	
		競合する					競合しない			
排除できる	A									
排除できない							B			

## 公共財と外部性を考えよう

Q、以下の財やサービスは、その性質からどこに位置付くだろうか？

		自動車	水道	自然林	一般道路(混雑していない)	美しい景観	高速道路	医療や教育	公園			
		競合する					競合しない					
排除できる	A	自動車	医療や教育						高速道路	水道		
排除できない		自然林					公園	B			一般道路	美しい景観

**フリーライダー問題** A=(9) 私的財) B=(10) 純粋公共財)

## Q、なぜ、公共財でないものを政府が供給する必要があるのだろうか？

どのような財・サービスが市場機構を通じないで、公共財として供給されることになるのだろうか。…公共財に関する分析はいずれも形式的側面に重点をおいて、公共財はどのような性質をもっているか、という問題が主として論ぜられてきた。これに反して、どのような財・サービスを公共財とすべきか、という問題はその実質的内容にふれることによってはじめて明らかにされる。たんに財の物理的性質や経済的特徴によって決定されるものでなく、経済社会の制度的特質に関してどのような**社会的コンセンサス**がとられているかに依存するものだからである。…近代市民社会の制度的特徴は、**各市民の基本的権利**がどのように規定されているか、ということによってあらわすことができる。…いずれの場合にも、**各市民の生命、生活にかかわる必需的な生活**をもち、**市民的自由を最低限確保**することを可能にするものである。…したがって、このような**基本的権利を満たすために必要な財・サービス**は、私的な形で市場機構をつうじて生産、分配されるのではなく、**公共財として提供**されることが望ましいとされるのである。

←経済と市民的権利

本時の主要な問い①

# 授業実践の内容(スライド)

## 高速道路のモデル

- ・ある区間の高速道路を作るのに、2200万円(仮定)
- ・車が何台通っても費用は掛からない(非競争性)
- ・1回通ると、1500円の便益が得られる人が1万人、1000円の便益が得られる人が1万人、500円の便益が得られる人が1万人(1回しか通らないと仮定)。
- ・高速道路を作ろうとする企業は現れるか？その理由は？



## 高速道路のモデル

2200万円の利益が出るか？

- ・通行料を1500円にしたら…  
 $1500円 \times 1万人 = 1500万円$
- ・通行料を1000円にしたら…  
 $1000円 \times 2万人 = 2000万円$
- ・通行料を500円にしたら…  
 $500円 \times 3万人 = 1500万円$

⇒高速道路を作ろうとする民間企業は(自発的には)現れない



## 外部性とは

…ある人の活動が、何ら対価をやり取りすることなく、他人に影響を与えること

プラスの影響 = 外部経済(正の外部効果)  
マイナスの影響 = ①外部不経済(負の外部効果)

Q、新しい大型スーパーマーケットができた！その地域への外部経済・外部不経済は何だろう？



## 自動車による交通の外部性

**社会的費用**…ある活動によって直接の費用負担者以外の人々や社会全体が負うことになる損失や費用



## 市民の権利から考える

(社会的費用となるものに、下線を引いてみよう)

市民の基本的権利を侵害しないような道路とは、次のような構造をもつものでなければいけない。まず、歩道と車道とが完全に分離され、しかも並木その他の手段によって、**排気ガス**、**騒音**などが歩行者に直接に被害を与えないように配慮される必要がある。また、歩行者の横断のためには、現在日本の都市でつくられているような歩道橋ではなく、むしろ車道を低くするなりして、**歩行者に過度の負担**をかけないような構造とし、更に、センターゾーンをつくったりして、**交通事故**の発生の確率をできるだけ低くする配慮をすることが要請される。と同時に、住宅など街路に沿った建物との間にもまた十分な間隔をもうけ、**住宅環境**を破壊しないような措置を講じなければならない。…自動車の通行が行われるようになって生じた子どもたちの**遊び場**としての街路の喪失は、ここであげたような方法によっては解決できない。児童公園などの施設を代替的に用意することができようが、街路ほど十分な、しかも魅力的な遊びの場としての機能を全部は代替しえない。したがって、狭い街路の多くについては、自動車の交通を禁止するよりほかに手段はないであろう。

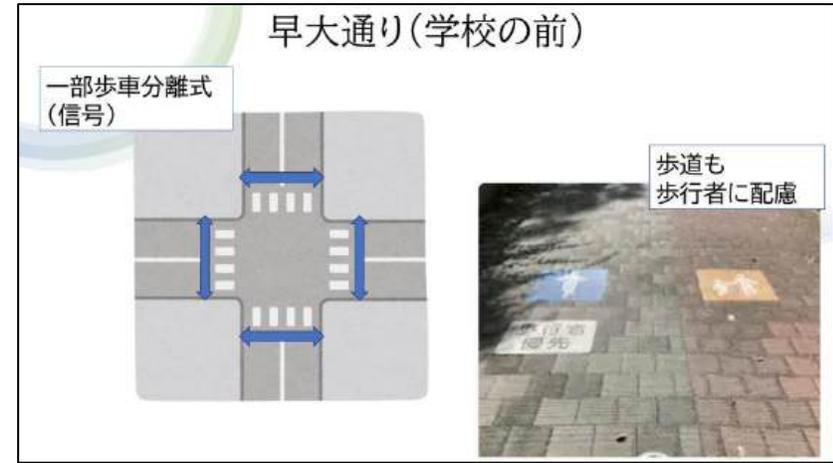
40

↑みえにくい社会的費用の意識化

本時の主要な問い②「自動車の「社会的費用」は何だろうか？」

絵：いらすとや、イラストACより

# 授業実践の内容(スライド)



牛込柳町鉛中毒事件(1970)の紹介  
過去の身の回りの出来事で当時を想像

学校の前は理想的な道路?

写真: 著者撮影  
絵: いらすとや

## どこまでが外部費用だろう?

総費用	環境・エネルギー費用	気候変動、資源、大気・水質・土壌汚染(生産・廃棄)、その他の化学物質、景観・コミュニティの分断、騒音・振動	外部費用
	その他	混雑(時間のロス)、事故、土地消費(駐車場等)	
	インフラ費用	道路資本、維持管理、警察、消防、裁判所 自動車関連税	
	私的費用	燃料・通行料金、維持・車検、保険(事故・盗難)、駐車場(自宅・自宅以外)、車両本体	内部費用

## みえない社会的費用の算出 (安心して歩ける道路の整備費用)

道路の構造変更(片側4メートルずつ拡張)  
東京都2万km<sup>2</sup>×用地費・建設費1km<sup>2</sup>あたり15万円=24兆円  
自動車200万台で割ると **1200万円!!**  
車利用者1人あたり年間約 **200万円!**(1973年)  
(外部不経済により発生する社会的損失ではなく、  
**社会的損失を予防するための費用を用いた**)

※外部費用の⑫内部化  
…直接負担していない費用に対して、例えば課税をすることで、消費や生産が抑えられ、好ましくない現象を減らすという考え方

## 交通標語

交通安全年間スローガン  
・「飛び出さな 車は急に 止まらない」1967年  
歩行者の安全よりクルマ優先の意識??  
・「せまい日本 そんなに急いで どこに行く」1973年  
「交通戦争」  
高度成長後のライフスタイル問い直し  
年間交通事故死者  
1975年 1万7千人 →2024年 2663人

宇沢の社会的費用算出の独自性

コラムとして日本の「クルマ社会」

# 授業実践の内容(スライド)

## 全国の自動車交通量からの算出(2014年)

	走行量 (億km)	大気 汚染	気候 変動	騒音	交通 事故	イン フラ	混雑	合計 (億円)
自動車	5068	16725	4055	5068	76532	-4561	33451	131269
トラック 等	2109	63886	3060	5150	19161	-1898	19737	109096
合計	7177	80611	7115	10218	95693	-6459	53188	240365

車の便利さとそれに伴う社会的費用は見合っているのだろうか？  
クルマ社会の機会費用(トレードオフ)は何だろうか？

## “豊かな社会”を構想しよう！

大事だと思ったところに下線を引いてみよう

宇沢弘文  
『社会的共通資本』  
岩波新書

先天的、後天的資質と能力  
夢とアスピレーションを実現する仕事  
社会的貢献に相応しい所得  
幸福で、安定的な家庭  
多様な社会的接点  
文化的水準の高い一生

経済・社会制度(市場)  
+  
社会的共通資本

## 社会的共通資本とは？

社会的共通資本

- ①⑬ **自然環境**: 大気、水、森林、河川、湖沼、海洋、沿岸湿地帯、土壌など
- ② **社会的インフラストラクチャー**  
: 道路、交通機関、上下水道、電力・ガスなど
- ③⑭ **制度資本**: 教育、医療、金融、司法、行政

「社会的共通資本は、一つの国ないし特定の地域に住むすべての人々が、**ゆたかな経済生活**を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置を意味する。社会的共通資本は、一人一人の人間の尊厳を守り、魂の自立を支え、**市民の基本的権利**を最大限に維持するために、不可欠な役割を果たすものである。社会的共通資本は、たとえ私有ないしは私的管理が認められているような希少資源から構成されていたとしても、社会全体にとって共通の財産として、**社会的な基準**に従って管理・運営される。」

文章から宇沢の目指す経済社会を読み取る

「社会的共通資本」の不足や破壊、「社会的費用」が問題となっている事例に何があるだろうか？

## 振り返り課題

- ①「1本の鉛筆」の社会的費用は何だろうか？
- ②「社会的共通資本」の不足や破壊、「社会的費用」が問題となっている事例に何があるだろうか？
- ③授業のキーワードだと思ったこと
- ④授業について、感じたこと・考えたこと、考えるべきだと思ったこと(「問い」)

QRコード

↑学習した概念を通じた課題発見  
本時の主要な問い③

振り返りで思考を深化する(オンラインで入力)

# 授業板書の様子①

Q 1本の鉛筆をついたのは誰か?

- ・ 機械をついた
- ・ 中り業者 ゴムでくる
- ・ 海外の人
- ・ 林業 工場労働者
- ・ 黒鉛 出資者
- ・ テグナイ

「授業環境」  
 ・ 時間  $2h \times 1163円$   
 = 2326円 (バイト)

Q 全市場で取引を  
 すればよい?  
 ・ 安く → 価値 ↓

・ 環境

Q 大型スーパーの外部性は?

- ⊕ 買い物しやす
- ⊕ お金が回る、利便性
- ⊕ 土価が上がる 雇
- ⊖ 周辺の店が×
- ⊖ 治安
- ⊖ 渋滞 (公害)

Q 自転車の社会的費用は?

- ・ 事故 - 警察、公共のその、人命
- ・ ガソリン - 石油
- ・ 信号、道路設置
- ・ 免許制度
- ・ 保険

生徒の発言（考え・想像）を拾い上げながら、授業をしていきました。

# 授業板書の様子②

Q 1本の鉛筆をついたのは誰か?

- 工場労働者
- デザイナー
- 林業・鉱山(黒鉛)
- 小売店
- 機械

業 協業

自由市場 + 合理的個人

価格

「授業受ける」  
2h x バイト (1163円)  
= 2326円

Q 全市場で取引引き  
おはよい?

- 給料(減)
- ライフラインの負  
(水道)

市場的基準 → 社会的基準

(市民) (福利)

Q 大型スーパーの外部性は?  
⊕ 住民の時短  
・便利  
・活気づく(人増)

⊖ 車の渋滞(公害)  
・6の占に人が集まる  
・うるさい

Q 自転車の社会的費用は?

- 補助金
- 人命
- コンクリート(ヒトアライド)
- 交通事故-被害者、物的
- ガソリン-資源
- とりはらい、スピード //:32~
- 駐輪 他交通(減)

# 生徒の振り返り(学び)

①「1本の鉛筆」の社会的費用⇒視野を広げて考えられていた  
木材、輸送、インフラ、人材、労働、加工、運搬など

②生徒の挙げた例⇒具体例を**多数発見**できていた

【インフラや制度】医療崩壊、教育格差、満員電車(通勤ストレス)、保育所、空き地(管理費)、基地問題、地方医師の減少、バスの廃線、インフラの老朽化(道路・水道管・堤防)

【自然環境】

大気汚染、環境破壊(森林や海はみんなの資本だが、ゴミ放棄や森林伐採などによって自然が壊されている)・・・

# 生徒の振り返り(学び)

## ③キーワード

内部 社会的 外部経済 基準利益 社会 市場  
フリーライダー

公的な 社会的費用 私的財 外部  
問題

豊かな 財 費用 公共財 非競合性  
社会資本 経済 機械

外部不経済 外部性 社会的共通資本  
資本

インセンティブ 位置付け 共通  
独占

# 生徒の振り返り(学び)

## ④授業について考えたこと・感じたこと

・自分の身の回りの物やサービスを、社会的費用や社会的共通資本の視点でもう一度考えてみて、課題点やメリットをしっかりと理解するべきだと思った。  
・鉛筆のような日用品にも、森林伐採や労働搾取といった社会的費用が含まれていると知り、**普段の消費行動を見直す**契機になった。

身近な経済の見直し

・なぜ現在でも自動車を優先する都市設計が続いているのか疑問であり、今後はより歩行者に配慮した街づくりへの転換が求められると考える。**社会的共通資本を誰がどのように守り、維持していくのか**という責任の所在も重要であると思う。さらに、**見えにくい社会的費用に気づくための教育の必要性**を強く感じた。

・今回の授業では普段なんとも思っていなかった経済などに関する思考ができる授業でした。それ以外にも**社会的共通資本や社会的費用など**に関係する**社会問題がまだいっぱいある**と感じた。

課題発見の視点としての宇沢思想

# 生徒の振り返り(学び)

- ・豊かな社会作りのためには、**経済について学んだ上で、政治というものが重要**になってくるものだと思った。

政治と共振する経済の授業
- ・値段を安くするだけではなく、ルールを決めることが市場では重要だと感じた。
- ・これを考える上でも**自分が投票に行く際**にこういうことをしているなら投票しようなどの**意見を考えられる**ようになる。豊かな社会を実現と公約に書いてあったりするがその人が何を持って豊かな社会を考えるのか。

- ・スーパーマーケットができるなどの一見ポジティブなことでも、他の客足が減る、混雑するなどのデメリットがあることが意外だった。一つの活動が他の様々なものに関連していて、色々な影響を及ぼすことが分かった。豊かな社会を実現するには社会的共通資本が必要だけれど、現状道路などの整備が不十分な場所があったり、快適な生活のために環境を破壊してしまうので、**社会的共通資本を維持しながら増やしていく方法**を考えるべきだと思った。

最適公共投資問題！

# 生徒の振り返り(学び)

課題に取り組んで、考えたことや疑問に思ったこと、質問

- ・社会的費用が問題になっている事例が大気汚染など今まで取り扱ってきた問題に関わっている(略)問題に繋がっているのだとわかりました。
- ・豊かな社会について考えたとき、単に便利さや経済的利益を追求するだけではなく、すべての人の生活の質や安全、尊厳を守ることが重要であるとの課題の取り組みで考えさせられた。
- ・まだ日本は社会的共通資本に関する考え方がまだまだ不足しているなど考えることが多かったです。
- ・社会的共通資本は、当たり前のように、我々の周囲に存在するものですが、今まで意識したことがなかったので、新しい発見でした。

社会的事象や問題のつながり、人間の尊厳の考察  
“当たり前”の問い直しをもたらす概念を活用する学習活動

# 社会的共通資本の実践的意義

- ①身近な経済活動を「社会的費用」の視点で捉え直せたか  
⇒実感ある理解から、「消費行動の見直し」にまで言及
- ②豊かな社会を「市民的権利」を基準に考察できたか  
⇒「政治が必要」という市民的な認識へ(共振のあらわれ)
- ③社会課題を「社会的共通資本」の視点から発見できたか  
⇒課題の「新しい発見」や豊かさの捉え直しがなされた(想像以上に)  
社会的共通資本の持続的な維持・責任＝宇沢の問題意識に近づく

★生徒がえることのできた**視座**を、これからの主題探究や  
課題解決・構想にも**活用・拡張**していくことが求められている！

# 社会的共通資本の実践的意義(授業構成)

課題・本質を発見・対峙する「**概念活用型**」の授業

➡資料の読解等から人文・社会科学の概念(認識手段)を学び、  
その考え方をを使って自己と社会を問い返し、考察する

2つのアプローチ

- ①課題解決型・・・問題に結びつけ、概念を応用して考察する
- ②課題発見型・・・概念を通じて、自ら問題を発見・考察する

拙著(2023)「先哲の思想を活用して考える「概念活用型」の授業実践」『中等社会科実践研究』vol.3、75-86

拙著(2024)「先哲の思想を使って考える「倫理」「公共」の授業づくり」『倫理道德教育研究』第七号、45-56

授業テーマ「何のために、どのように“豊かな社会”をつくりだすことに関わるか」

➡「認識手段」としての、社会的共通資本や宇沢弘文の考え方

より切実な課題に「実現手段」を組み合わせ、現実に声を上げられるように…

# 【補足1】「公共」授業のどこで、どのように扱えるか

- ①「効率性と公正性」を考える…A「公共空間の基本原理」
- ②「公共財」を発展的にとらえる…B「市場」
- ③「新自由主義」を批判的に考える…B「経済体制と変遷」
- ④「社会資本」の補足で説明する…B「財政」
- ⑤「経済発展」の影に気づかせる…B「日本経済」(公害問題)
- ⑥「社会の制度」を探究的に考える…C「持続可能な社会」

→一般的な②④だけでなく、授業構想の幅は広い

A「公共の扉」、B「主題学習」、C「探究」にかかわる！

# 【補足2】宇沢弘文の考えていたこと…①

## 経済学とは (宇沢『日本の教育を考える』p. 168、1998)

もともと経済学は、その範囲や定義を固定的独断的に決めるものでなく、現実の問題なり、現象に対して柔軟に対応して、経済学的な考察を進めてゆくものです。そして何よりも、**現実の不公正、不平等を是正して、社会正義に適った道を探る**のが、経済学の目的でなければならないと思うからです。

## 社会的共通資本としての道路 (宇沢『自動車の社会的費用』p. 154、1974)

さて、所得分配の安定性を図るためには、市民の基本的権利の具体的内容について明確に規定し、そのような権利にかかわる財・サービスをどのようなメカニズムを通じて分配するかについて計画することが必要になってくる、ということを説明してきた。このうち、とくに歩行者のための道路を社会的共通資本として建設・管理し、歩行の自由というもっとも重要な市民的権利を守り、安定的な基本的生活を確保しようとするのは、その典型的な場合と考えられる。

# 宇沢弘文の考えていたこと…②

## 現代資本主義の基本問題 (宇沢『経済学の考え方』p. 255、1989)

大気を例にとってみれば、経済活動の水準が高くなって、大気汚染が深刻となり各人の享受する大気の質が悪化し、その機能が低下することになる。いわゆる公害現象である。このとき、社会的共通資本の最適な使用をはかるためには、その使用に対して規制をきびしくするか、あるいは公共投資を通じて共通資本の蓄積をはからなければならない。社会的共通資本について、どのようなタイプの共通資本を、どのような速度で蓄積したらよいか、というのが**最適公共投資の問題**である。…この問題は、現代資本主義におけるもっとも基本的問題の一つであって、市場経済制度の安定的な運用を可能とし、市場的不均衡の問題を解決するとともに、社会的共通資本本来の課題である**社会的**  
**不均衡の問題**を解決するために重要な意味をもつということを述べておきたい。

# 宇沢弘文の考えていたこと…③

**社会の器** (内橋克人編『経済学はだれのためにあるのか』p. 17、1997・宇沢との対話より)

…現に存在する1つの制度、組織、環境、そういうものを総体としてとらえて「社会的共通資本」といっています。つまり人間が人間らしく生きていくことができるような条件、場、あるいは**社会の器**をつくり、そのなかで人々が自由に行動を起こしていくという考えです。その器が社会的共通資本です。純粹な市場経済で敗れた人たちは生きていけないし、あるいは人間的な尊厳を傷つけられていきますから、そういうことがないような場をつくる。これは、…リベラリズムの考え方を具体的な制度として浮き彫りにしようとした概念です。

**市民とのかかわり** (内橋編『経済学はだれのためにあるのか』p. 20、1997・宇沢との対話より)

…問題は、**国家管理か市場機構かではなくて**、その中間に、一つの社会をもっと安定的に維持して、リベラリズムの理念が実現できるような仕組みがあるのです。…社会的共通資本は、市民の生活にとって重要なかかわりをもつもの、たとえば学校教育、医療制度、金融制度、あるいは土地の管理などです。そういうものは、社会にとって共通の財産として、できるだけ**市民に近い自治体レベル**で、社会的な基準で管理されるべきです。そしてはじめて一人ひとりの個人の自由な企業活動ができるようになる。…